



## 市民文化創造都市会議報告書の提出について

### 1 報告書提出までの経過

平成23年11月、新たな市民文化の創造によるまちづくりを目指して、学識経験者等10名からなる市民文化創造都市会議（委員長武山良三氏・富山大学芸術文化学部教授）を設置しこれまで検討を行ってきた。そして、このたび平成25年3月に報告書が市へ提出された。

### 2 「文化・創造都市高岡」について

文化・創造都市高岡とは、地域の歴史に生まれ、磨きあげられてきた文化を土台として、創造性豊かな市民が他者及び外部との交流によって新しい知恵を生み出し、それによって産業や文化に新しい可能性が生まれ、常に新たなコト、モノ、情報が発信されていくまちを指している。

### 3 報告書の内容

別紙「報告書のあらまし」のとおり

### 4 「文化・創造都市高岡」を具体化する平成25年度の取り組み

#### (1) 「文化・創造都市高岡」推進を図るための懇話会の設置

市民文化創造都市会議報告書を踏まえ、創造都市を実現するために文化や産業に力点をおいた識者からなる懇話会を設置する。

- ・設置時期 平成25年5月中旬頃（予定）
- ・委員構成 学識経験者、文化・産業などの団体関係者、  
全国で活躍中のアーティスト又はプロデューサー

#### (2) パイロットプロジェクトの開催及び芸術振興イベントの実施

昨年から万葉をテーマに中心市街地を会場に上質な音楽を提供する高岡万葉遊楽宴事業を実施してきたが、本年度はより市民参加による高岡らしい万葉イベントを提案していく。

##### ①高岡万葉遊楽宴『街角プロジェクト（クラシック・オペラ）』

商店街を会場に市民に気軽にクラシックの名曲を楽しんでいただく。

- ・開催日 7月13日（土）・10月12日（土）（予定）
- ・場 所 御旅屋通りオープンカフェ会場
- ・出演者 地元演奏家

##### ②高岡万葉遊楽宴『万葉朗読劇「家持幻影」（仮称）』

万葉をテーマとした和楽器と語りの新しいコラボレーション朗読劇

- ・開催日 10月5日（土）
- ・場 所 高岡市民会館

# 報告書のあらまし

## 現状と課題

### 高岡市の文化的特徴

- ・古い町並みなど歴史的建造物
- ・銅器や漆器などのものづくり文化
- ・雅楽や能楽などの伝統文化、茶や和菓子などの食文化
- ・万葉故地という特色
- ・文化活動は盛んだが、後継者不足
- ・文化施設が多いが、施設が老朽化

### 文化に係る市民意識

- ・文化活動が盛んだが点で終始する傾向
- ・文化とは縁遠いと思っている人が多い
- ・文化的資源が活かされていない

「文化・創造都市高岡」実現が必要

## 課題

### ①地域文化資源の活用

- ・高岡ならではの文化を活かす取り組み
- ・文化的資源を活かす戦略的な施策の実施

### ②文化芸術活動の活性化

- ・気軽に文化に親しめる施策の実施
- ・質の高い文化芸術で、市の魅力を発信
- ・市民らによる協働の取り組みの推進
- ・文化情報を集約、提供する仕組みづくり
- ・文化活動を活かした産業や観光の振興

### ③文化芸術活動の場の充実

- ・計画的に改修を行っていく必要性
- ・文化活動の練習場や発表の場の確保

### 文化を取り巻く社会動向

- ・世界的な経済不況にともなう変化
- ・新たな価値観やライフスタイルを基盤とする文化や産業の振興策への要望
- ・新たな魅力を放ちながら自立的かつ持続的に成長している、複数の都市の存在

## 「文化・創造都市高岡」の具体化にむけた重点プロジェクトの提案

### 連携 創造的活動を促進するネットワークの充実

- ・芸術、文化活動団体や富大芸文学部との連携強化
- ・他分野との連携促進（共同オフィス、文化団体等の活動報告会の開催等）
- ・文化コーディネートブースの設置
- ・市民ニーズアンケートの実施
- ・創造都市ネットワーク日本への参画推進

### 人材育成 連携、活性化させるコーディネーターの育成

- ・文化をコーディネートしていく推進団体（NPO等）の設置〔芸術文化と他分野（産業、観光など）との協働事業の実施〕
- ・文化コーディネーター育成事業（セミナー等）
- ・次代を担う若者や子どもたちの育成  
「ものづくり・デザイン科」事業等の推進
- ・文化、芸術を担う後継者の育成
- ・地域の特性を活かしたアワードの実施

### 事業 パイロットプロジェクト等の実施

- ・遊楽宴、金屋町楽市、万葉まつりなど既存事業の充実
- ・街角、駅舎など身近な場所で文化に触れる機会づくり
- ・文化を地域の安全や福祉に活かす視点を持ったアウトリーチ事業の実施 他、アートを融合した各種事業

### 環境 創造的活動を行う場の整備

- ・文化施設における連携・ネットワーク機能の充実（文化交流の促進機能）
- ・空き家、倉庫などを利用した活動発表の場の提供
- ・既存の文化施設における評価指標の導入
- ・文化創造拠点についての検討（老朽化した施設の再整備、文化創造施設のあり方）

## 「文化」って？

本報告書では、次のような対象分野に本市の特色ある資源を含めたものを「文化」の主な範囲とします。

- ・芸術：文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術
- ・メディア芸術：映画、漫画、アニメーション及びコンピューターその他電子機器等を利用した芸術
- ・伝統芸能：雅楽、能楽、文楽、歌舞伎その他の我が国古来の伝統的な芸能
- ・芸能：講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能
- ・生活文化：茶道、華道、書道その他の生活に係る文化
- ・国民娯楽：囲碁、将棋その他の国民的娯楽、出版物及びレコード等
- ・文化財等：有形及び無形の文化財並びにその保存技術
- ・地域における文化芸術：地域固有の伝統芸能及び民俗芸能

※文化芸術振興基本法より

## I. 基本理念

「高岡。地域文化をもとに、新たな文化・産業を創造するまち」

## II. 基本的視点

感じる

感動と共感

活動する

創造性の発揮

交流する

協働・発信

## III. 基本方針

### ①文化を知り、見つめ直す

文化芸術に触れ、価値を見つめ直す

### ②だれもが文化に親しむ

「参加・交流・発信」文化活動の活性化と向上

### ③文化をつなぎ、文化をつくる

創造活動を先導する人材の育成

### ④文化を育む環境づくり

新たな市民文化創造の場として

展開イメージ

## 創造都市実現のための組織体制

創造都市の推進を図るため、懇話会の設置の他、以下の組織体制についても検討が必要。

### ①市民組織の取り組み

市民、文化芸術団体、NPO団体、アーティスト、民間企業などを中間支援する市民組織の設置（提言、各団体の連携促進）。

### ②行政組織の取り組み

「文化・創造都市高岡」を推進する専門組織の設置。市役所内の関連部局が連携し、効果的な事業を推進するとともに、継続性を重視した計画の推進が求められる。

### ③市民組織と行政組織の連携

前記の市民組織の活動と行政内における専門組織の取り組みを連携させ、その取り組みを統合的に推進するためには、両者を総括する指導力の高いクリエイティブディレクターを起用も重要。